



Knocking on the Door of...

コーチ訪問 海外編①

アマンダ・ドックマン

Amanda Dokman

ダンスの最前線で学び続ける

T・ハウソン、L・バリッキ、A・シンキンソンとの輝かしくも葛藤に満ちた戦歴を経て、生涯無二のパートナー、トニー・ドックマンとの充実した競技生活へ、そして献身的指導旅行サイクルへ。壮絶な経験を潔い笑い声に乗せて語るその人は、恩師B&B・アービン夫妻譲りのダンス哲学を、細身の内側からほとぼしらせた。

INTERVIEW & TEXT: MEIRI MARIMO PHOTOGRAPHY: IGOR MASLOV

ヒルフェルスマ 献身と喜びの拠点

真夏のオランダはひんやり

と湿っていた。そば降る雨の中、時代がかった産業倉庫風

戸口をくぐると、ビアホール

に似たテーブルの連なりや煉瓦積みのカフェ・カウンター周辺

さらにその向こうに長々と開けたダンス・フロア上に、20

～30代の競技カップルがひしめき、やる気満々といった態で体を揺すっている。そのはざ間に中高年となりどりのシニア・カップルもちらほら。

ここはアムステルダム郊外ヒルフェルスマ市内の『ダンスセントルム・アルベルト』。8月

初旬の金曜の朝、欧州各国や米国、香港、ヴェトナムなどから約60組の参加者が開始を待ち構えているのは、日曜夕方までの3日間にわたる、毎年恒例『ドックマン・トレーニング・ウイークエンド』。主催者は、このダンス・スタジオの経営者夫婦の息子で元全英選手権ファイナリストのトニー・ドックマンと妻のアマンダだ。彼ら自身によるレクチャーや競技会形式のプラクティス（練習時

間）のほか、イタリアから元全英王者アウグスト・スキアボ、英国からはブラックプール・エンプレス・オーケストラのバン・リーダー、アシュリー・フローリックが招かれて、パートナー間のコミュニケーションやミュージカリティーの極意を伝授。オランダのナショナル・チーム嘱託のスポーツ精神科医によるメンタル・トレーニング講義や、著名ラテン・コーチ、ルート・フェルメイの講義、ビデオの上映もある。

これら気まじめ一方そのうなプログラムの連続の中につて、ダンサーたちは終始真剣な目的意識を示しながらも、そこには同時に「fun」——集つて学ぶ楽しさ——が絶えず基調和音として流れ漂っている。

「いざ研鑽」という気負いと競争意識がみなぎる中でなお、参加者の口元にしばしば笑みが浮かびどつと咲笑が沸く……。それは〈良いダンス〉の2大要素——高度な集中力と適度なリラクゼーション——の両立の相似形、とでも言おうか。

そしてこの厳しくも楽しい空気の蒸留源は、明らかに主催者のトニー＆アマンダだ。彼は

2012-04

全日程の司会をはつらつたる

大声とユーモアのセンスとを駆使してエネルギーでセンスとを

なし、彼女はそんな夫のジョー

クに「おきやん」な——とは今

どき死語か?——呵々大笑と

弾けるような全身リアクション

とで伸びやかに応じる。

そしてそんな彼らを取り閉

むのは、生徒たちの彼らに対する

明らかな親愛と信頼の念だ。

最終日のランチ・テーブルで隣り

合わせた米国人プロ男性が

英國人の妻とうなづき合いな

がら言うことに、「今までいろ

んなコーチの指導を受けたけ

ど、3か月前にトニーとアマン

ダのレッスンを初めて受けたけ

の好奇心の結実である。

ストリータム

原点と最前線の融合

育の場もある。

トニーとの最後の試合となっ

た2007年ブラック

プールから早4年半以上の時

間は常に大きくなり力強

く変化してきたし、変化してい

く。それは自然発展的な進化

であり前進よ。陸上の100メートル走の記録も5年前より早くなってるでしょ? 日常生活と同じことだわ。

な進化のペースに引退後も取り残されずに教え続ける秘訣

とは? 「私たちにとって<to say up to date>(時流の最前線にいる)ための最善策は、このロン

ドンのスタジオで素晴らしい同僚コーチや現役選手たちに開まれていることね。ここで優秀な現役選手に教えることが、世界のトップ級カップルが有名コーチに教えられるのを観察しながら学ぶ。この環境にいれば永遠に学び続けられる

のよ。もしオランダに引きこもつていたらそうはないかない

けど』。『スタートライト』は創設者の恩師夫妻のエネルギー源でもあつたという。「彼ら、あらゆるトップ・プロに教えながらほかのコーチたちに取り巻かれて、絶えず心を配りながら忙しくしてた。特にビルにはいつでも何でも質問できたものよ。そして彼らは亡くなるまで学ぶことをやめなかつたわ」

アマンダ自身、「私は教え子のカップルと個人的に親しむのが好き。単なる教師以上の存在として接し合いたい。現役

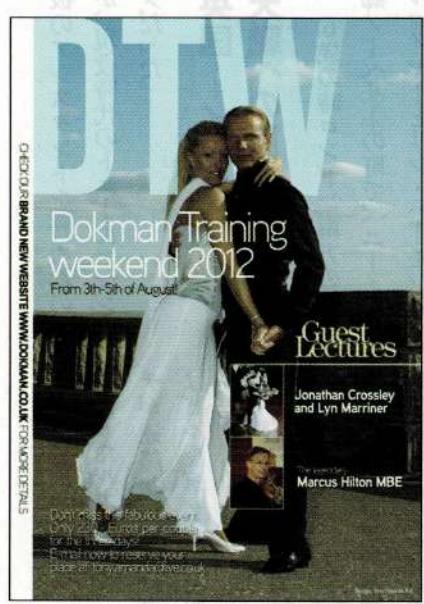
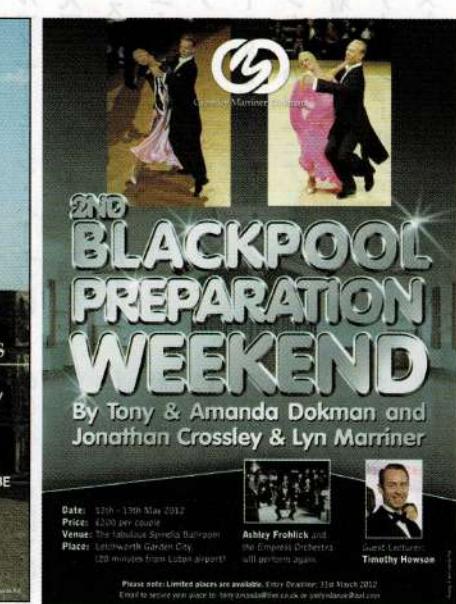
時代は自分中心よね。レッスンはあくまでも自分のレッスン代を稼ぐため。だけど今は生徒たちに自分の持てるすべてを与えることに専念してるわ」

今なおその教えが世界中の日々のレッスンで語り継がれ、教本として書き継がれる恩

師夫妻は、まず妻のボビーが2004年に、その後に

ビルが他界。彼の生涯最後のレッスンとなつた2005年

ブラックプール・コングレスで



(左)今年の「ドックマン・トレーニング・ウィーク」は8月3~5日開催。特別講師はM・ヒルトン。
(右)J・クロスリー&L・マリナーと共同主催の「ブラックプール準備ウィークエンド」(5月12&13日)。第2回目の今年もエンプレス・オーケストラの生演奏による本番シミュレーション付き。

ジニアらと並ぶ共同出資者兼コーチ陣の一員として、世界各地区から押し寄せる競技選手たちに終日レッスンを施す。こ^こはボールルーム、ラテン両ダンスにおいて60年代に一世代を築いた伝説的世界チャンピオン、故・ビル&ボビー・アービン夫妻が創設して今に受け継がれている「聖地」であり、1988年15歳での入門以来彼らの生涯を通じて秘蔵つ子選手であり続けたアマンダのダンス人生の原点であり、彼女が夫と共に恩師夫妻から存分に汲み取った指導原理とインスピレーションを日々確認し更新する生涯教

ダンスは進化し前進する。日常生活と同様に。

彼のアシスタントを務めたのが、現役時代のトニー・アマンだつた。

英國——イタリア 天職への目覚め

6歳の時ロンドン南方の故郷ノーベリーの町でベニー・トルマイヤーとリン・ハーモンに入門したアマンダを、最初に「スタートライ」に伴つたのはユース時代にチームを組んだティモシー・ハウソンだった。1988年15歳でロンドン・インターのジュニア部門2位に着けてすぐ、アマンダはパートナーのジョナサン・ウイルキンスと解消し、この試合の優勝直後にやはりカップル解消したティモシーと新コンビを結成。以来彼の師だつたアービング夫妻の門下生となり、翌5月の全英で16歳にしてU21部門優勝。以後前人未到の同部門3連覇を達成したが、「良い友達だつたけど恋人ではなかつた」ティモシーから、かねて恋仲だつたジョアン・ボルトンとの新アマ・カップル結成を通告される。

しかし「ものすごく傷ついだた」彼女に、ほどなく当時

ユース部門セミ・ファイナリストだつたルカ・バリッキのコートが連絡してくる。幸いルカ

はビル&ボビーのお眼鏡にかなつて即入門を許されたが、アマンダはここで重大な決断を迫られる。イタリア人のルカが故国でのダンス指導で稼げるのに対し、英国では当時アマ選手の指導行為はご法度。彼と共に技を鍛え競技キャリアを形成するためには、彼女もプロになつて彼と行動を共にし、イタリアで教え始めるほかない……。

ユース時代にチームを組んだティモシー・ハウソンだった。1988年15歳でロンドン・インターのジュニア部門2位に着けてすぐ、アマンダはパートナーのジョナサン・ウイルキンスと解消し、この試合の優勝直後にやはりカップル解消したティモシーと新コンビを結成。以来彼の師だつたアービング夫妻の門下生となり、翌5月の全英で16歳にしてU21部門優勝。以後前人未到の同部門3連覇を達成したが、「良い友達だつたけど恋人ではなかつた」ティモシーから、かねて恋仲だつたジョアン・ボルトンとの新アマ・カップル結成を通告される。

ユース部門セミ・ファイナリストだつたルカ・バリッキのコートが連絡してくる。幸いルカはビル&ボビーのお眼鏡にかなつて即入門を許されたが、アマンダはここで重大な決断を迫られる。イタリア人のルカが故国でのダンス指導で稼げるのに対し、英国では当時アマ選手の指導行為はご法度。彼と共に技を鍛え競技キャリアを形成するためには、彼女もプロになつて彼と行動を共にし、イタリアで教え始めるほかない……。

ものよ。でもイタリア語がきくともダンスを教えるうえでユース部門セミ・ファイナリストだつたルカ・バリッキのコートが連絡してくる。幸いルカ

コンフォート・ゾーンを出なければ成長は無いわ。

きだし、今にして思えば、いわば〈赤ん坊〉時代から素晴らしい教育だけを受けられたことが、教えるに当たつての十分な基盤を与えてくれたのね。私は子供の頃から一度たりとも間違いを教わらなかつた。本当にラッキーだつたわ」。

やがて「少しずつ落ち着きを取り戻して慣れてきて」自分なりの指導法を加速度的に習得し、教えることに喜びを見出すようになる。「習うにしろ教にプロの道へ、言葉の不如意なイタリアでのダンス指導へ。イタリアで1週間教えて得た蓄えを元手にレッスンを受けに英国に戻り、1~2週間後再びイタリアでのレッスン生活に戻る——という目まぐるしい生活サイクルが始まつた。

「ものすごく怖かつたわ」と、彼女が述懐する。「普通なら新アマ・カップル結成を通告されよ。最初の頃は教えに行く道すがら、不安で体が震えたばかりでターン・プロするで代後半でターン・プロするで

なに若い時からずつと教えてきたけど、今でも自分が教えるあらゆるレッスンから私は常に何かを学んでいるわ。私が教えることが大好きなの！」

シンキンソン夫妻もアービング門下であったため進展は素早く、カップル結成10日後にはタルカとはデビュー戦の1991年秋のロンドン・インターでいきなり準決勝入りし、続く1月のUK OPEN以来ずつとファイナル入り。うら若きシンデレラ・カップルとして公私共に喜びを分かち合つた二人のパートナーシップは、しかしながら結成後2年半にして突然瓦壊する。93年、彼がより上位のファイナリスト、イン組の5位に対して3位に着けるが、こうした表面上の榮

ト・ゾーン)の外の〈Learning Zone〉(学習ゾーン)に自分を追いやつて、〈Panic Zone〉(パニック・ゾーン)にまで踏み込まなきやダメ。居心地良いままでは、ダンサーとしてもコーチとして成長は望めないわ」。

いたいけな愛弟子を気づかう師ボビー・アービングが、ほどなくアマンダとアンドリューを新たに組ませるという起死回生策をもたらす。

英國——香港 アジアへの発信基地

シンキンソン夫妻もアービング門下であったため進展は素早く、カップル結成10日後にはタルカとはデビュー戦の1991年秋のロンドン・インターでいきなり準決勝入りし、続く1月のUK OPEN以来ずつとファイナル入り。うら若きシンデレラ・カップルとして公私共に喜びを分かち合つた二人のパートナーシップは、しかしながら結成後2年半にして突然瓦壊する。93年、彼がより上位のファイナリスト、イン組の5位に対して3位に着けるが、こうした表面上の榮

ト・ゾーン)の外の〈Learning Zone〉(学習ゾーン)に自分を追いやつて、〈Panic Zone〉(パニック・ゾーン)にまで踏み込まなきやダメ。居心地良いままでは、ダンサーとしてもコーチとして成長は望めないわ」。

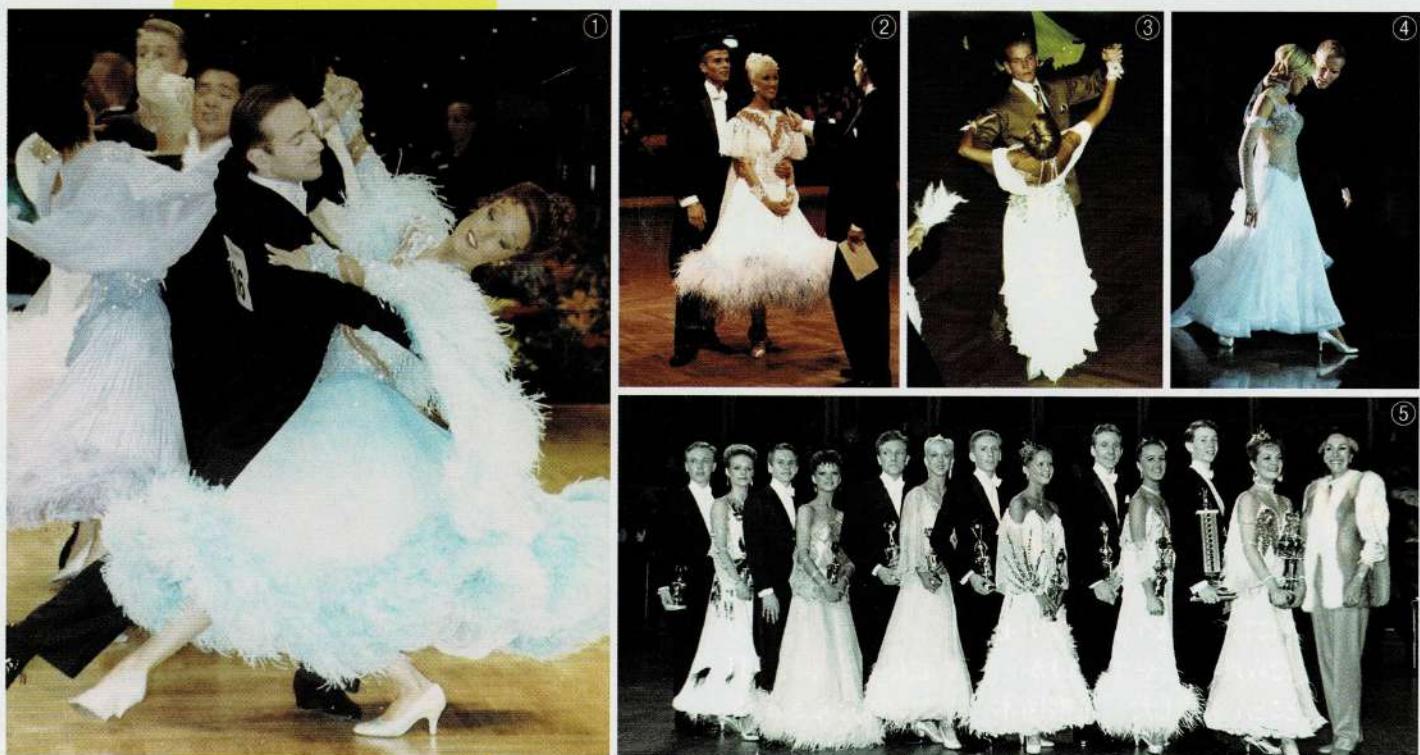
いたいけな愛弟子を気づかう師ボビー・アービングが、ほどなくアマンダとアンドリューを新たに組ませるという起死回生策をもたらす。

シンキンソン夫妻もアービング門下であったため進展は素早く、カップル結成10日後にはタルカとはデビュー戦の1991年秋のロンドン・インターでいきなり準決勝入りし、続く1月のUK OPEN以来ずつとファイナル入り。うら若きシンデレラ・カップルとして公私共に喜びを分かち合つた二人のパートナーシップは、しかしながら結成後2年半にして突然瓦壊する。93年、彼がより上位のファイナリスト、イン組の5位に対して3位に着けるが、こうした表面上の榮

ト・ゾーン)の外の〈Learning Zone〉(学習ゾーン)に自分を追いやつて、〈Panic Zone〉(パニック・ゾーン)にまで踏み込まなきやダメ。居心地良いままでは、ダンサーとしてもコーチとして成長は望めないわ」。

いたいけな愛弟子を気づかう師ボビー・アービングが、ほどなくアマンダとアンドリューを新たに組ませるという起死回生策をもたらす。

シンキンソン夫妻もアービング門下であったため進展は素早く、カップル結成10日後にはタルカとはデビュー戦の1991年秋のロンドン・インターでいきなり準決勝入りし、続く1月のUK OPEN以来ずつとファイナル入り。うら若きシンデレラ・カップルとして公私共に喜びを分かち合つた二人のパートナーシップは、しかしながら結成後2年半にして突然瓦壊する。93年、彼がより上位のファイナリスト、イン組の5位に対して3位に着けるが、こうした表面上の榮



①A・シンキンソンと1994年UKオープンで3位。因縁のバリッキ組は5位。②L・バリッキと93年UKオープンで5位。司会者D・バーンズの質問に応える。③2000年全英選手権で物議を醸したトニーのカラメル色のショット・コート姿。④08年11月香港での引退パーティーでのラスト・ワルツ。⑤88年ロンドン・インターのジュニア戦でJ・ウィルキンスと組んで2位(右から2組目)。優勝者T・ハウソング(右から3人目)とユース部門の王座へ。右端は恩師ボビー・アービン。

り悲しくて落ち込んでいた彼女は23～24歳にして引退を決め込み、スターライトでのコート業に専念。が、96年全英観戦を機に矢も盾もたまらくなつて再デビューを決意した矢先に、「スターライト」の同僚アデール・プレストンの取り持ちで、当時ユース時代以来のパートナーだった妹と解消したばかりのオランダ・チャンピオン、トニー・ドックマンと出会い、たちまち意気投合する。後は急転直下。1週間後にはトニーがヒルフェルスムに取つて返して荷物をまとめて、一目散に英国に舞い戻つて来ると、「次のパートナーとは絶対にロマンス抜き! ダンスだけのビジネス関係!」といふ彼女の固い決意はいともあつさり軟化して、二つの人生が結び付いた。

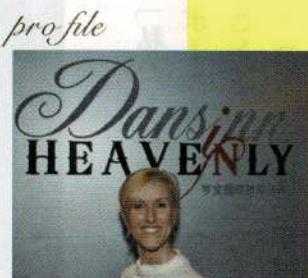
以来「すごく音楽的で、やるとなつたら怖いもの無し」のトニーと、「英国的に几帳面で自

り悲しくて落ち込んでいた彼女は23～24歳にして引退を決め込み、スターライトでのコート業に専念。が、96年全英観戦を機に矢も盾もたまらくなつて再デビューを決意した矢先に、「スターライト」の同僚アデール・プレストンの取り持ちで、当時ユース時代以来のパートナーだった妹と解消したばかりのオランダ・チャンピオン、トニー・ドックマンと出会い、たちまち意気投合する。後は急転直下。1週間後にはトニーがヒルフェルスムに取つて返して荷物をまとめて、一目散に英国に舞い戻つて来ると、「次のパートナーとは絶対にロマンス抜き! ダンスだけのビジネス関係!」といふ彼女の固い決意はいともあつさり軟化して、二つの人生が結び付いた。

以来「すごく音楽的で、やるとなつたら怖いもの無し」のトニーと、「英国的に几帳面で自

制が効いた」彼女のダンス・スタイルの差異を調合融和させながら、メジャー大会常連セミファイナリストからファイナリストへと、徐々にポジションを上げていく。それはかつて出場のたび、新しいパートナーと組むたびにファイナル入りを当然視された彼女にとって、戦績上初めて通過する試練だつたろう。「あの2年間の中斷なくトニーとすぐ踊り始めていたら……」と、彼女は「私たち二人の唯一の悔い」を口にするが、トニーが昨夏のキャンプで一人のなれそめにユーモラスに言及した際の表現を借りれば、「彼女のダンス」(の成績)はちょっと下がったかもしれないけど」と両手の親指で自分を差して胸を張りながらカデミーに招聘されもある。

今トニー&アマンダは、このスタジオで「できたら2012年後半に」、オランダでの夏のキャンプ、そして英国でのメジャー大会直前キャンプと並ぶ、アジア地域選手を対象としたトレーニング・ワイクエンドの実現を画策中だ。彼らの献身と「fun」に満ちたダンス哲学が、東シナ海のすぐ先でより広い伝播の機会を待っている。



アマンダ・ドックマン

Amanda Dokman

英国生まれ。6歳でB・トルマイヤーに入門。88年からアービン夫妻に師事。89年からT・ハウソングと共に全英U21部門3連覇。91年プロ転向。L・バリッキ、A・シンキンソンと組み立て続けに英国メジャー大会ファイナリストに。96年夏T・ドックマンとカップルを結成し、全英ファイナルなどを経て98年正式引退。英国・オランダ・香港を拠点に世界各国の選手を指導。

の共同経営者の一角として香港の『Dansin Heavenly』(ダンシン・ヘヴンリー)での指導にも年間のかなりの日数を費やす一方、ここに世界トップ級プロやコーチを頻繁に招いて、香港きっての名門スタジオとしての地位を確立。2012年UKオープンでアマ・ボールルーム部門を制したヤン・チャオ&タン・イリンを始めとする中国選手の育成にも貢献し、本土・広州の全寮制ダンス・アカデミーに招聘されもある。

今トニー&アマンダは、このスタジオで「できたら2012年後半に」、オランダでの夏のキャンプ、そして英国でのメジャー大会直前キャンプと並ぶ、アジア地域選手を対象としたトレーニング・ワイクエンドの実現を画策中だ。彼らの献身と「fun」に満ちたダンス哲学が、東シナ海のすぐ先でより広い伝播の機会を待っている。